

2023～2024年度クラブ目標

創立1986年

『みんなが楽しい ロータリー』



世界に希望を生み出そう

2023-24年度国際ロータリーテーマ

会長 佐藤 幸彦  
幹事 村上 堅二



## 第1805回例会

令和6年5月16日 (12:30～13:30)

○ソング

- 四つのテスト

○ビジター

- 矢吹RC40周年記念式典実行委員長 矢内宏様、社会奉仕委員会委員長 近藤均様

○スマイルBOX

- 矢内宏様 (先日の観桜会ではお世話になりました。6月8日の当クラブ40周年記念式典お待ちしております。)
- 近藤均様 (先日は観桜会に参加させて頂きありがとうございました。今回は矢吹ロータリークラブ40周年のPRに来ました。よろしくお願ひします。)
- 佐藤幸彦会長 (矢吹RC、創立40周年記念式典実行委員長、矢内様、近藤様、ようこそ。遠藤会員、永山会員、卓話ありがとうございました。)
- 村上賢二幹事 (会員の皆様のお話、ありがとうございました。)
- 石川裕子会員 (先週は欠席のところ、誕生日祝いを届けて頂きありがとうございます。41歳となりました。ますます突っ走ります。引き続きよろしくお願ひいたします。)
- 前原俊治会員 (5月11日は76歳の誕生日でした。あまりうれしくはないですが、誕生日祝有難うございました。)
- 永野文雄会員 (矢吹RC近藤様、矢内様、創立40周年おめでとうございます。発表者の皆様、卓話ありがとうございました。)
- 寺島由一会員 (誕生日のお祝い、ありがとうございます。家族でおいしく頂きます。)
- 渡部則也会員 (永山さん、遠藤さん、貴重な卓話ありがとうございました。久しぶりの例会出席となりました。遅くなりましたが、誕生日のお祝いありがとうございました。)
- 根本あゆみ会員 (お誕生日プレゼントありがとうございます。本日一つ大人になりました。今年もよろしくお願ひします。)
- 吉田充会員 (矢吹RC近藤様、矢内様40周年おめでとうございます。本日はお出で頂きありがとうございます。)
- 鈴木孝幸会員 (先週は結婚祝いありがとうございました。子育ても終わり、人生これから！ですが、熟年離婚ということもあるそうなので、まだまだ慎重に生きていきたいと思ひます。)

▶第1805回例会出席状況 (R6年5月16日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	70名
Ⓒ Ⓐの出席者数	27名
Ⓔ Ⓐのメイクアップ者数	2名
Ⓕ Ⓑの出席者数	12名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓕ (メイクアップ補填後の出席会員数)	41名
Ⓗ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓕ)	63
Ⓘ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	65%

【今週の仮メイクアップ会員】

- 5月12日 石川RC創立40周年記念式典  
佐藤幸彦、村上堅二、金田昇、阿部克弘、大竹優子、永野文雄、成井正之、藤田龍文、松永紀男、吉田充、渡部勝也、十文字光伸

▶例会日：第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

佐藤幸彦会長



皆さん、こんにちは。まず初めに、本日のお客様をご紹介させていただきたいと思います。矢吹ロータリークラブ創立40周年記念式典実行委員長、矢内様でございます。同じく矢吹ロータリーパスト会長でございます近藤様でございます。後程、40周年のPRあるかと思っておりますので、どうぞよろしくお願いしたいと思います。報告になってしまうんですが5月12日、石川ロータリークラブ40周年記念式典に12名で行ってまいりました。石川ロータリー和知会長の40周年を機に50周年に向けて奉仕の理想を旗印に地域社会の発展に尽力というご挨拶のもと、石川記念事業としまして、石川地方5町村に図書カードまたは石川町に災害対策用のかまどベンチの贈呈が行われたわけでございます。また、式典終了も 学法石川高校野球部の佐々木順一郎監督の講演がございまして「From now on これから」のテーマで講演を聞くことができました。さすが野球部の監督ということだけあって、いろいろ本も出されてる方なんですけども、なかなか指導力、指導法に関してのいろいろなお話が聞けて大変内容は良かったでございまして。その後、懇親会に入ったわけですが、同じく学法石川のチアリーディング部の模範演技を見ることができまして、その後乾杯に入ったんですが、乾杯の音頭はなんと我が西ロータリークラブの金田ガバナーノミニエグジネートの乾杯の音頭で会が盛会に進められたわけでございます。さて、今日はロータリーの話ばかりなんですけど、今度の日曜日ですが5月18日。地区研修大会が郡山「華の湯」で行われますので、行かれる方々をつけて、また頑張ってきていただきたいと思っております。また、また同じくこのバイク愛好会の話なんですけど、6月2日日曜日なんですけど、バイク愛好会で南会津のほうに蕎麦を食べに行こうという企画がありますので参加される方は是非、矢内部長のほうまでご連絡をいただければと思います。続きまして、先週お伝えしたんですが佐川京子会員の娘さんが亡くなったとのことで、御霊前を私と幹事のほうで取りまとめておりますので、今日締め切りとなっておりますので、明日か明後日、佐川会員と連絡を取り合いながら代表して行ってきたいと思っておりますので、また後ほどご報告させていただきたいと思っております。さて、我が西クラブ現在会員数69名なんですけど、嬉しいことに仮入会が本日申込書がいただいておりますので、本日は来て

おりませんけども、来月の理事会を通しまして正式会員になれば会員数70名ということですので、よろしくお願ひしたいと思います。例会も我が年度も、あと残すところあと6回となりました。着陸態勢に入ってるのかなと思って、気を緩めることなく皆様のご協力をいただきながら無事着陸したいと思いますので、最後まで皆様のご協力をよろしくお願いいたします。さて、今日の例会でございまして会員の声2回としまして、私の理想でありました会員全員が一度はここに立って2分でもいいから3分でもいいから喋ったらいかがでしょうかというテーマさせていただきましたが。実際まだこの場で今年度ですね、この場でまだ喋ってないという方何人くらいまだいらっしゃいますか。是非ロータリーメンバー、我が西クラブメンバーであれば一回くらいはここで何かしら皆さんにお話をいただければと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。それでは今日の会員の声、遠藤敦会員、永山龍太郎の2名、会員の声ということで、どうぞよろしくお願いいたします。以上、会長挨拶とします。ありがとうございました。

### ■幹事報告

村上堅二幹事

- 東北地区コミッショナー、仙台東ロータリークラブ、福島西ロータリークラブ久米充彦：全国ロータリークラブ甲子園野球大会東北地区親善野球大会令和6年度東北地区大会代表者会議開催のお知らせ
- 米山記念奨学会事務局長 柚木裕子：ハイライトよねやま290
- 2024-25何度県南分区ガバナー補佐 佐藤演由：第1回新旧会長幹事会 2024-25年度 県南分区新会長幹事会 2023-24年度 県南分区会長幹事会
- 比国育英会バギオ基金会長 浅田豊久：「バギオ日より」配布のお願い
- 右近ガバナー事務所：【台湾東部地震】支援金取り纏めおよび海外送金について

### ■矢吹ロータリークラブ

○40周年記念式典実行委員長

矢内宏様



皆様、こんにちは。貴重な例会の時間少しいたしまして、PRのほうをさせていただきます。当矢吹ロータリークラブ、今年度、創立40周年を迎えました。年度でいいますと2023年より計画をいたしておりまして、40周年式典と祝賀会と記念事業等、昨年より見学して実施の方向で行ってまいりましたが、事情によりまして昨年の12月、当例会場

今まで使ってた所がちょっと使用が不可能になりました、どうしようかっていうことに一時になりました。12月にそんな話が出まして、1月に一応全体会を開きまして、その時に能登地震があったりとか、会場のちょっとなかなか設定が難しいということでやらないという話も出ましたし、ならばあの式典に使う費用等を能登地震の義援金等でもしてもいいんじゃないかという話も出ました。何回かこうみんなと会員のみんなと議論を重ねていきましたが、横山会長はじめ、あと先輩方の会員様の思いもありまして、規模は縮小してもいいのでやったらいいんじゃないのかっていう話が会員みんなでもとまりまして。実質動き始まったのは3月ぐらいからです。ご案内を各県南のクラブの方に事務局のほうに流させていただきましたが、誠に残念ではありますが本来ならば白河西ロータリークラブ約70名の方々全員来ていただいてお祝いしていただければと思いましたが、残念ながらちょっと会場の都合もございまして1クラブ3名程度ということで、ちょっとご案内させていただきまして。少ない人数ではございますが、我ら当クラブも何とか開会に漕ぎ付きまして、皆様もお迎えし40周年を一緒に祝っていただければと思っておりますので、是非3名の方よろしくお願ひしたいと思います。以上でございます。ありがとうございます。

### ■矢吹ロータリークラブ

#### ○社会奉仕委員会委員長

近藤均様



皆さん、こんにちは。今回、今矢内会員のほうから皆さんに報告したとおりなんですけども、去年からいろいろ計画はしていたんですけども、まあとにかくこんな状況になっちゃったということで、皆さんに大変申し訳なく思っております。今回ですね、そういうわけで我々今11名のロータリーの会員がいますが、その中でね、まあ8名くらいは出られるのかなということで、人数は少ないんですけども精一杯皆様に来るのを待ってますので。それで精一杯接待させていただきますので、ひとつよろしくお願ひします。前回、観桜会には大変お世話になりました。私も、久しぶりに観桜会に出て、まあ親睦が図れたのかなというふうに思っています。特に、永野さんにはいろいろね、お付き合いさせていただいてありがとうございます。そういうことで、また今後ともですね、矢吹ロータリーと親交させていただければ、ひとつよろしくお願ひします。ありがとうございます。

### ■本日のプログラム

#### 会員の声例会Ⅱ

#### ○遠藤敦会員



皆様、こんにちは。ロータリークラブで卓話を、運天会員から依頼されて。私の仕事の話の一部をしてみたいと思ってます。わたくしの職種は貸ビル業で入ってまして、貸ビル業、不動産業、そういった仕事やっております。私は大学は法学部で民法と商法を学び、証券会社に入社し、上場会社の株の売買と債権を扱っておりました。5年先10年先の見通しと会社の成長と景気を読む訓練を叩き込まれまして、株の売買の他に私の仕事は、顧客の資産運用対応しまして、資産をいかに増やすかと。私は東京でマンション、アパート経営、貸店舗、貸事務所の運営を進めておりました。昭和40年代は神武景気でインフレが進み、私の事業はすべて高成長でお客様から喜ばれました。顧客は、会社の経営者、役員、商店主、資産家の皆様の悩みはいつも税金が大変で、いかに節税するかということ。いつもそれを聞かれておりました。私は6人兄弟の次男で、白河の後継者ではなかったんですが、父より遠藤家の再生と立て直しを懇願され、4年間で契約の更新、書き換え、値上げ、立ち退きを成し遂げました。白河の初めての仕事は、東邦銀行よりお話があり、「ホームマートタイヨウ」というスーパーでD I Y、今から50年前ですがD I Yを作ってみてらどうかというお話があり、その当時「池田工芸」さんより西側は田んぼでした。そこに50年前、建築費2,500万円の家賃50万で決めスタートしました。証券会社の客でありました東京筆での製造元のカメイ様より、東北、北海道の東日本に営業体を作って欲しいと話があり、白河で5名の社員を募集して月曜日より土曜日まで営業しました。出稼ぎです。スーパーのほうは経費と固定資産税、あと自分の給料を、自分の会社に貸し付ける形で、仕事は先ほど言った東京筆の出稼ぎで生活費をまかない、残りは全部銀行に返済しまして7年間で銀行の返済が完了しました。中町の野村屋ビルの東側に借地が戻ってきまして、1階に「つぼ八」、2階を貸事務所、3階が「ジャパン全身美容」に貸付し、鉄骨ALC板の3階建てを作りました。「遠藤商事」の遠を抜いて「藤ビル」と名前を付けて、これも2,500万当時の工事費でかかりまして、スーパーのほうからの家賃と、あとその三か所の家賃をもって、その建物は5年間で返済が終わりました。それで50年間で、貸しビル、マンション、アパート、貸店舗、約30棟を作ることができました。全て銀行より

借り入れして、約定を完了しております。決してお金が余ってビルを作ったわけでないです。よく皆様から、遠藤は金があるからまたビル作ったっていうのは、あの二件、三件、四件のまとめて全部返済に向けたからここまで出来たと思ってます。バブルの時に1億円でトレンドビルを今の「柏屋」ですね、あれを作りまして。本当に「柏屋」さんに借りてもらってもこれも返済が終わりまして、運天さんにも使っていただいています。あと2年前にですね、昭和町の白河信用金庫から譲り受けました土地に、白岩工務店さんの協力で「ES10」が完成しまして、全部借主が決まりました。本当に何とか順調に出来ました。「緑川産業」も親戚であったんですが、15年前にして引き受けまして前社長が亡くなりまして、これもなんとか再生することができ今順調に行ってます。少子高齢化が進み今から5年前ですか、これから増えるのは年寄りが必ず増えてくるのはわかっており、健康産業、年寄りを元気にしたいという考えで運動特化型デイサービス「緑フィットネス希望」、白河と矢吹に開業し地域一番店に一応なったと思ってます。運が良かったのは一緒に働いてくれた社員に恵まれたことと、工事に協力していただいた業者の方に本当に感謝しております。仕事ですから工事は値切って安く作ってもらえますが、支払だけはきれいに現金で早めに返してるつもりです。手形は発行しませんので、不渡り、倒産はないと思ってます。あとバブルの頃ですね、羅漢山にIGCで200町歩の開発を鈴木伸幸事務所、鈴木会員のお父さんと、商工会の会頭の鈴木俊雄さんと一緒に開発ができ、大熊町の大型スーパーミツタの開発と、あとは白河の昭和町の「カワチ薬品」の誘致。世界最大の投資会社「ゴールドマンサックス」の、200町歩の大規模太陽光発電の開発にさせていただき、これも仕事が完了しました。金額が70億から100億くらいのもんですから、どうしてもですね。契約が終わるまでは秘密の仕事が多く口が重くなることが多いので、皆様には申し訳ないと思っております。これから今白河は、白河の市街地、阿武隈川と4号線で分断されておりまして、今の白河厚生病院より北側のほうが発展していくと思います。白河は交通の便がよく、新幹線、高速道路の接触もいいもんですから、まだまだ発展していくと思います。以上で、お話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

#### ○永山龍太郎会員



皆様、こんにちは。永山龍太郎と申します。ちょっと声がこんな感じなんですけどよろしくお願ひいたします。挨拶と話は短い方がいいと言われてるんですが、できる限り長くと様々な方面の方からちよつと言われておりますので、本日は自分の仕事、自分自身、そしてロータリークラブと自分という3つのパートに一応分けてみました。本日はちよつと私の卓話にお付き合いください。よろしくお願ひいたします。まず最初に、自分の仕事ですけど皆さんご存じの方も多いかと思いますが、「永山産業株式会社」の代表取締役をさせていただいております。会社は事業部として、製造部、そして警備部の2つの異なる事業を展開させていただいております。まず初めに製造部。ファッション、衣料についてです。本日、皆様を着用されているお洋服で日本製でありますか。日本製のお洋服着てる方、もしくは1点でも日本製だという方、是非ともちよつとお手を上げてもらえませんか。はい、ありがとうございます。現在のファッション衣料産業なんですけど、輸入浸透率が98%です。なので、特に驚きはある意味ではなかったです。その2%国内の縫製工場、もしくはニットの工場であったりとか、そういう所が作ってる形になるんですが、当社は百貨店ブランドなどを主に生産をしていたんですが、7年前にコレクションブランドに変えてきました。コレクションブランドというのは、現在1月と6月にメンズのパリコレクション等々を展開しているブランドさんのことです。今日は着てはいませんけども、コムデギャルソン・オム・プリユスであったりとか、オーラリーであったりとか、ちよつとそういう所のブランドの洋服を当社で作らせていただいております。しかし、一年間本当大変なんです。当社で作れるのってシャツとかになってしまってるので、寒い時のお洋服ってそんなないんですよ。まあそういうことがありまして、皆様にもご協力いただいておりますが、オーダー会を東北のコレクションを手掛ける工場さんとスーツのオーダー会を過去3回実施させていただいて、クラブの皆様にもオーダーいただき本当に感謝しております。まだまだ勉強中なんですけど、いろんなことを教えていただきたいなと思いますので、一度作ってちよつと合わなかったんですけど二回目も何とかお願ひできないかなと思ってます。そして、もう一つの事業体が警備部になります。「永山セキュリティ」というんですけど、暑い中で外での仕事ですので、体力的にもきついお仕事にはなっております。ですが、残念ながらも

なか若い方は入ってこれないというふうな形で、御年輩の方が多いんですが、なんかこう一つずつ変えていきたいなっていうことの思いもあり、人集めが難しくなっている中で、やはり今の現状、建設業の皆さんとかそうだと思うんですけど、白河市以外の企業さんに警備とかお願いされてる方が今多いのかなと思ってます。産業構造であったりとか、環境っていうのが目まぐるしく変化している中で、個々に繋げる取り組みを考えている最中なんですけど、まず1つあるのは白河市内に本社機能を有する警備業さんとパートナーシップをちょっと結んでいって、何かこう自分たちがもっともって成長できることをできないかなんかという話の話を今進めております。できる限りお互いの社員教育であったり、または対応をパワーアップしていきたいと考えておりますので、少しずつでももしも皆様の方から警備業のほうであの警備お願いしたいんだけどあった時には、是非お声がけいただけたらなと思います。よろしくお願ひします。そして次二つ目、自分自身という内容になってきます。ご存知の方多いと思うんですけど、病気と健康についてちょっとお話をさせていただこうかなんかと思っております。体が資本はよく言われますが、身をもって私体験しました。2021年10月19日、19時過ぎに突然として背中に強い痛みと呼吸が苦しくなるということを経験してまして。まあコロナ禍ということもあって、救急車で厚生病院に搬送されるのにもやっぱり時間がかかりました。後に、病名は大動脈解離スタンフォードA型という形で告知されるんですが。まあ、その時はもちろん知る由もなく、まさか自分がそんな危険な状態だということも知ることもなく、隣にいてくれた妻に、もしくは家族には「大丈夫、死なないから。」と平気な顔で言っていて、お前バカかと後から言われたのを今でも記憶しています。まず厚生病院で検査を受けて対応ができないので転院先を探しますと伝えられました。正直、本当にどうなるのかは全くわからない。痛さと呼吸っていうのが浅くなってきて手足が冷たいっていうふうに訴えたら、あの先生がモルヒネを打ってくれました。初めてモルヒネ打っていただいたんですけど、気持ちよくなってきちゃいましたね。ちょっとウキウキした気分になってきちゃったんですけど。まあ、そこはちょっと置いておいて、この時点で緊急手術を要する状態だったのと、あととても危険な状態であったということ、後日妻から伝えられた次第であります。まあ、ここからが本当にラッキーの連続でした。まず、星総合病院の心臓血管外科の先生が手術日で病院におりました。そして、予定の手術が終わる間際だと。そして、受け入れを承諾してくれたこと。また、私自身コロナの陰性だ

ったこと。もし、ここで陽性であつたら福島医大までもう1回転院してくれというふうな形だったんですけど、自宅から厚生病院、厚生病院から星総合病院と二回の救急車で搬送を生き延びたと。本来であれば、大動脈解離って救急車の中で亡くなる方が60%を超えてるといふふうにちょっと書いてあつたので、本当にラッキーだなんていふふうに思っています。星総合病院に着いて再度ちょっといろんな検査をして手術台の移動の時に、看護師さんが私を見て重そうだなというのを記憶しております。そう言われたのでちょっと悔しかったので「83キロあります。」って言って返事をして笑ったこと、それが麻酔を受ける最後の記憶です。そして、皆さんもいろいろと名前聞いたことあると思いますけど、コロナ時代にエクモっていう機械ありますよね。エクモの機械に乗せられてもう眠った状態で、それが真夜中の12時05分でした。で、手術自体は心臓に人工弁、大動脈にステントなど様々な人工物を入れて、あのフランケンシュタインにバージョンアップをしていただいて、手術が終わったのが朝の8時過ぎ。心臓に人工心肺をした時にうまく動いてなかったんで、緊急でもう1個手術をしたっていうのも伺ってはいたんですけど、あの8時間で記憶がもしかしたらないんじゃないかっていふふうな部分もあって、ここまで詳細にいろんなことを覚えているので先生にはごめんなさいってのは伝えました。そういった部分の中で、家族はコロナ禍でしたので病院に家族ももちろん来れない。もちろん先生じゃないので、看護師さんも家族から電話があつた時に永山龍太郎さんの容体っていうものはもちろん伝えることができないというような状況でした。ですが、ICUで僕自身が喉が渇いて水飲みたいって言っても、黙って寝てろみたいな形で薬を再度投与されて寝かされるっていうの3日ぐらいちょっと続けまして、結局家族に連絡が取れたのが4日5日後だったと思ってます、手術後。その時に初めて看護師から、ご家族の名前とか、麻酔から覚醒したのはだいたいそのくらいにちょっとなってくるんですけど、その時に家族の名前覚えてますかって言われて、私の妻の名前、永山司穂。そして、子供永山紅太、わかります。では、一緒に私の母は永山恵子が住んでますっていうことを伝えたと、あつ記憶あるんですねというふうにあつさり返されたというふうなことも少し記憶に残ってます。声が今のようになっちゃったことで、ちょっと正直本当に気持ちが滅入ってしまいました。こうやって話をしているのも、あの聞こえてるかなんとか、聞きづらくないかなんかというとも心配をしています。あと、やっぱり人工弁をちょっと入れたので身体障害者に認定をされて、今の1級の身体障害者に

なってます。ですが、車で例えばですけど車椅子とかそういう所に車を停めて私が運転席が出てくるんですよ。そうすると、間違いなく周りの人は白い目で見ます。何でこいつ、ここに停めてるんだと、なんですけど、安心してください、切ってます。健康第一、この言葉の意味をすごく実感した経験でした。今も体は もちろん動かせますけど、体力が落ちてしまったので長時間ちょっと動くとかいうことはなかなかできないんですけど。あと大きな声が出せないのが皆様大好きだと思んですけども、飲み屋、キャバクラとかに行くと騒ぐことが一緒にできません。またあのカラオケもちょっと声がこんな感じなんで、行くことは歌うことができないというふうな状況になってます。皆様本当に体には十二分お気をつけてください。そして最後、ロータリークラブと自分ということで、ちょっと書く時間がなかったので、あの行ったり来たりになって大変申し訳ないんですけど、吉野パスト会長の時に白河西ロータリークラブに入会させていただきました。これが最近のロータリークラブと私なんですけど、実は私の父も別なクラブなんですけど白河ロータリークラブのほうに入会させていただいたことがあって、その時の記憶がちょっと最近蘇ったところがあったのでお話させていただきたいなと思ってます。今から約35年前、私が8歳の時にロータリークラブの交換留学生という事業がありました。その時にシェリー・セリオさんという方が永山家に6ヶ月、そして大槻家に6ヶ月、計1年間 白河市の地で今では旭高校になるんですけど、白河女子高に交換留学生として来られてました。その方がつい先週、日本に来日されて、結婚されるということでお祝いで仏前式を「聯芳寺」さんのほうでやらさせていただきました。わたくしも参列させていただいたんですけど、あの実際にお寺で仏前式でやる結婚式ってなかなか経験できることじゃないなというふうに思ってます。先週の日曜日の5月12日の民友に記事がちょっと載ってますので、もしもあのチャンスがあ

れば見てもらえたらなと思ってます。この交換留学生の事業っていうのが、私にとって初めて英語に触れた機会でありました。そして、あの英語に興味を持つ経験になったという部分もあります。来た時にももちろん旦那様も来られて、彼女日本語もすごくよく話せるんですけども、英語でこういろいろと話をしてた中で、彼女は白河女子高校、今の旭高校を留学が終わった後にアメリカにももちろん帰国します。その後、素晴らしいキャリアをこう送ってるんですけど、「アマゾン」であったり、そしてまた今の飛ぶ鳥も落とす勢いのあのAIの「エヌビディア」さんであったりとか、2週間前に退社をされたそうなんですけど、その中でこういうことを教えてくれました。高校生であった時に学校の先生に日本語の訳とか手伝ってもらったんだけど、女子高でもスピーチさせてもらった。僕が白河第一小学校の生徒だったので、白河第一小学校でも生徒の前でスピーチさせてもらった。もちろん外人が日本語でスピーチをするから皆わかってなかったかもしれないけど、こうやって多分皆様スピーカーの顔を見てますよね。それが彼女のキャリアの中で、人前で話をする事の恐怖心を全てなくした経験だったというふうに話をしてくれました。最終的に高校が終わって最終日に白河を出発して行く時に、女子校のあのクラスの生徒が来ちゃ駄目だよって学校から言われてたにも関わらず、全員が大槻家に集合したと。その時に思ったのは、もう二度と帰ってこれないのかなと、もう二度と日本に来れないのかなんていうことも思ってみたいですが、こうやって35年40年経った今でも白河に来てくれて、いろんな話を私も聞きましたけど、そういうチャンスとまた人との繋がりをいただいたロータリークラブというものに僕はすごく感謝をしますし、これからもできることはやっていきたいなと思ってますので、よろしく願います。ありがとうございました。

石川RC40周年記念式典 5月12日

